

2023年9月13日

各 位

SBSリコロジスティクス株式会社  
SBSホールディングス株式会社

## 次世代型車両初号機の納車式を開催 —サステナビリティ目標達成に向けてEV導入を加速します—

SBSリコロジスティクス（代表：若松勝久、本社：東京都新宿区）は9月11日、フォロフライ株式会社（社長：小間裕康、本社：京都府京都市）が提供する次世代型EV車両「F1VAN」初号車の納車式を「物流センター沼津第一」（静岡県沼津市双葉町）にて執り行いました。



この度導入した「F1VAN」は、2021年10月に、物流業界に先駆けてSBS即配サポート株式会社にて試験運用を開始し、フォロフライと共に日本の気候や安全基準に合わせた快適性、実用性の向上に取り組んでまいりました。2年に及んだ試験運用による改良を経て、今回次世代型車両本格導入の第一号となりました。

本車両は1トンクラスの商用EVバンです。フル充電時の走行可能距離は、ラストワンマイル配送において一般的に必要とされる100kmの基準をクリアした300km以上を達成。頻繁に停止・発信を繰り返す市街地での配送を想定したテストにおいても200km以上の走行を実現しています。また、システムにより車両の所在地や電池残量、充電状態等の情報を管理し、さらに今後はテクノロジーを活用した電池劣化診断、劣化予測等を一元把握することで、より効率的な物流オペレーションを可能にします。



納車された次世代型EV車両



挨拶をする社長の若松勝久

SBSリコロジスティクス社長の若松勝久は、EV車両導入時に三つの障壁があったとしました。一つ目はガソリン車と比較した際の「コストの壁」、二つ目は1回の充電で1日の配送を賄う為の「バッテリー性能の壁」、三つ目は中国を始めとした海外向け仕様を日本に合わせる「使い勝手の壁」と述べ、さらに「今回この障壁をクリアする所までようやくたどり着きました。本取組はSBSグループのみならず日本における商業EV車両拡大のきっかけになると考えています。」と語りました。

SBSグループは、中期経営計画「SBS Next Stage 2025」において、「環境に配慮した物流施設・輸配送体制の整備」を掲げています。今回の納車は中期経営計画の実行を促進するものであり、これを皮切りに次世代型EV車両の導入をSBSグループ全体で展開してまいります。

以 上

## ■ご参考

< S B S グループ概要 > (2022 年 12 月末時点)

持株会社 : S B S ホールディングス株式会社 (S B S グループ持株会社)

設立 : 1987 年 12 月

代表者 : 代表取締役社長 鎌田 正彦

上場 : 東京証券取引所プライム市場 (証券コード : 2384)

本社住所 : 東京都新宿区西新宿 8 丁目 17 番 1 号 住友不動産新宿グランドタワー

資本金 : 39 億円

売上高 : 4,554 億円 (連結、2022 年 12 月期)

従業員数 : 22,829 名 (うち正社員 11,970 名、連結)

事業内容 : S B S グループは、1987 年の創業以来、物流ならびに物流に付帯するサービスを充実させ、ワンストップの物流サービスをご提供することで、お客様の利益創造に貢献してまいりました。グループ内には、食品から超重量物までさまざまな商品を扱う企業群、路線、区域、即日配送まで多様な配達形態にお応えできる企業群、そして、物流施設開発、環境物流などの専門的な企業群を有しています。

URL : <https://www.sbs-group.co.jp>

## ■本件に関するお問い合わせ先

S B S ホールディングス株式会社 I R ・ 広報部

e-mail : [contact11@sbs-group.co.jp](mailto:contact11@sbs-group.co.jp)

※ 当資料に掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。